

第 70 回日本臨床眼科学会

- 会期** 2016 年 11 月 3 日 (木・祝) ～6 日 (日)
- 会場** 国立京都国際会館 (〒 606-0001 京都市左京区宝ヶ池 Tel. 075-705-1229)
 グランドプリンスホテル京都 (〒 606-8505 京都市左京区宝ヶ池 Tel. 075-712-1111)
- 学会長** 小椋祐一郎 (名古屋市立大学大学院医学研究科視覚科学)
- 副学会長** 湯口幹典 (愛知県眼科医会)
- プログラム委員長** 門之園一明 (横浜市立大学大学院医学研究科視覚再生外科学)
- テーマ** Ophthalmology for Tomorrow—明日への眼科学—
- 主管校** 名古屋市立大学大学院医学研究科視覚科学教室 (〒 467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄 1)
 事務局長: 吉田宗徳 Tel. 052-853-8251 Fax. 052-841-9490
- プログラム (予定)** 特別講演 1 「臨床所見から考える網膜硝子体疾患の病態と治療」池田恒彦 (大阪医大)
 特別講演 2 「眼科手術のリスクマネジメント」山川良治 (久留米大)
 招待講演
1. Peng T Khaw (Moorfields Eye Hospital and UCL Institute of Ophthalmology)
 2. Napoleone Ferrara (University of California, San Diego)
- シンポジウム 1 World Retina Summit 2016
1. 「Age-related Macular Degeneration—Anti-VEGF and beyond」
 オーガナイザー: Timothy Lai (The Chinese University of Hong Kong)・白神史雄 (岡山大)
 演者: Jayakrishna Ambati (University of Kentucky)・Timothy Lai (The Chinese University of Hong Kong)・Won-Ki Lee (The Catholic University of Korea)
 「Tissue plasminogen activator as anti-angiogenic agent」安川 力 (名古屋市大)
 「Benefit and risk of intravitreal aflibercept combined with photodynamic therapy for polypoidal choroidal vasculopathy」本田 茂 (神戸大)
- シンポジウム 2 World Retina Summit 2016
2. 「Diabetic Retinopathy—From Pathogenesis to Management」
 オーガナイザー: Jean-Francois Korobelnik (Bordeaux University Hospital)・坂本泰二 (鹿児島大)
 演者: Adrian Koh (Camden Medical Centre)・Jean-Francois Korobelnik (Bordeaux University Hospital)
 「Surgical Management of Diabetic Retinopathy」瓶井資弘 (愛知医大)
 「Receptor-associated prorenin system in the pathogenesis of diabetic retinopathy」石田 晋 (北海道大)
 「Blood-Retina Barrier Breakdown in Pericyte-Free Vessels」植村明嘉 (名古屋市大)
- シンポジウム 3 World Retina Summit 2016
3. 「Recent Advances in Fundus Imaging」
 オーガナイザー: Sebastian Wolf (University Bern)・山本修一 (千葉大)
 演者: Sebastian Wolf (University Bern)・Gemmy Cheung Chui Ming (Singapore National Eye Center)
 「Imaging Pathologic Myopia」大野京子 (医科歯科大)
 「New Frontier in Retinal Imaging」飯田知弘 (女子医大)
 「Advancement in image analysis」大石明生 (ボン大/京都大)
- シンポジウム 4 World Retina Summit 2016
4. 「Cutting Edge of Vitreoretinal Surgery」
 オーガナイザー: Pravin Dugel (Retinal Consultants of Arizona)・門之園一明 (横浜市大・医療 C/ 視覚再生外科)
 演者: Pravin Dugel (Retinal Consultants of Arizona)・Stanislao Rizzo (University of Florence)・Chi-chun Lai (Chang Gung Memorial Hospital)・Young Hee Yoon (Asan Medical Center, University of Ulsan)
 「The Efficacy of Microincision Phacovitrectomy and Tips for Success」國方彦志 (東北大)
 「Advantages in heads-up surgery」北岡 隆 (長崎大)

シンポジウム5 「眼部腫瘍診断の最前線—微量検体からわかること—」

オーガナイザー：古田 実（福島県医大）・林 暢紹（須崎くろしお病院）

「眼腫瘍診療における細胞診の実際」吉川 洋（九州大）

「生化学検査」松尾俊彦（岡山大）

「ゲノム検査」上田俊一郎（東京医大）

「フローサイトメトリ」加瀬 諭（北海道大）

「PCR 検査」蕪城俊克（東京大）

シンポジウム6 「フェムトセカンドレーザーによる前眼部手術の進歩」

オーガナイザー：神谷和孝（北里大）・柴 琢也（東京慈恵医大）

「フェムトセカンドレーザーを用いた角膜移植手術」稗田 牧（京都府医大）

「Small Incision Lenticule Extraction (SMILE)」宮本 武（和歌山県医大・紀北分院）

「フェムトセカンドレーザーを用いた乱視矯正手術」宮田和典（宮田眼科病院）

「フェムトセカンドレーザーを用いた白内障手術」ビッセン宮島弘子（東京歯大・水道橋）

シンポジウム7 「最新版・各種眼科検査を用いた QOL・QOV 評価へのアプローチ」

オーガナイザー：加藤 聡（東京大）・国松志保（東北大）

「QOL・QOV を評価するにあたっての視力・コントラスト感度の検査の意義」根岸一乃（慶應大）

「QOL・QOV を評価するにあたっての各種視野検査の意義」奥山幸子（近畿大）

「視野検査・電気生理学検査を用いた QOL・QOV 評価」池田康博（九州大）

「光干渉画像検査を用いた QOL/QOV 評価」国松志保（東北大）

シンポジウム8 「糖尿病黄斑浮腫に対する併用療法による治療戦略」

オーガナイザー：岸 章治（群馬大）・北野滋彦（女子医大・糖尿病）

「サイトカインから考える併用療法の展望」志村雅彦（東京医大・八王子）

「硝子体からみた糖尿病黄斑浮腫の治療戦略」秋山英雄（群馬大）

「抗 VEGF 薬と光凝固の併用療法の実際」大越貴志子（聖路加国際病院）

「虚血領域への光凝固併用による薬物療法の相乗効果」高村佳弘（福井大）

「抗 VEGF 薬と副腎皮質ステロイドの併用療法の実際」杉本昌彦（三重大）

「硝子体手術を基準とする併用療法」森實祐基（岡山大）

シンポジウム9 「眼科手術の選択と適応」

オーガナイザー：平田 憲（林眼科病院）・中野 匡（東京慈恵医大）

「角膜移植手術の選択と適応」小林 顕（金沢大）

「緑内障」相原 一（東京大）

「白内障」常岡 寛（慈恵医大）

「網膜・硝子体」鈴間 潔（京都大）

「眼瞼」江口秀一郎（江口眼科病院）

シンポジウム10 「緑内障 今どきの手術適応」

オーガナイザー：木内良明（広島大）・石田恭子（東邦大・大橋）

「薬物治療の限界」井上賢治（井上眼科病院）

「緑内障手術の成績から見た手術の適応」川瀬和秀（岐阜大）

「眼圧が低い緑内障患者の手術適応」内藤知子（岡山大）

「流出路再建術（360 度トラベクトミーほかを含む）の適応」黒田真一郎（永田眼科）

「濾過手術（線維柱帯切除術，エキスポレス，チューブ手術）の適応」杉本洋輔（県立広島病院）

シンポジウム11 「眼疾患と視野障害」

オーガナイザー：松本長太（近畿大）・大久保真司（おおくぼ眼科クリニック/金沢大）

「網膜疾患と視野障害」篠田 啓（帝京大）

「緑内障と視野障害」大久保真司（おおくぼ眼科クリニック/金沢大）

「視神経・視路疾患と視野障害」中村 誠（神戸大）

「自動車運転と視野」国松志保（東北大）

「視野障害による視覚障害者認定」松本長太（近畿大）

シンポジウム 12 「脈絡膜から網膜疾患を考える」

オーガナイザー：石田 晋（北海道大）・辻川明孝（香川大）

「中心性漿液性脈絡網膜症・Vogt-小柳-原田病における脈絡膜変化」園田祥三（鹿児島大）

「加齢黄斑変性・ポリープ状脈絡膜血管症における脈絡膜変化」古泉英貴（女子医大）

「急性帯状潜在性網膜外層症コンプレックスにおける脈絡膜変化」齋藤 航（北海道大）

「網膜色素変性における脈絡膜変化」村上祐介（九州大）

「糖尿病網膜症における脈絡膜変化」村上智昭（京都大）

「強度近視における脈絡膜変化」森山無価（医科歯科大）

シンポジウム 13 「眼科臨床医が知っておくべき真菌感染症」

オーガナイザー：井上幸次（鳥取大）・江口 洋（近畿大・堺）

「真菌感染症の基礎知識」亀井克彦（千葉大・真菌セ）

「眼科における真菌感染症」加治優一（筑波大）

「真菌種同定法」矢口貴志（千葉大・真菌セ）

「真菌性角膜炎多施設前向き全国スタディ」井上幸次（鳥取大）

「真菌性眼内炎」望月清文（岐阜大）

シンポジウム 14 「角膜移植術の治療選択について考える」

オーガナイザー：山上 聡（東京大）・妹尾 正（獨協医大）

「全層角膜移植白内障同時手術 or 全層角膜移植術後白内障手術」榛村重人（慶應大）

「深層前部角膜移植術 or 全層角膜移植手術」妹尾 正（獨協医大）

「角膜内皮移植術 or 全層角膜移植術」稲富 勉（京都府医大）

「DSAEK or DMEK」小林 顕（金沢大）

シンポジウム 15 「屈折矯正手術の新展開」

オーガナイザー：ビッセン宮島弘子（東京歯大・水道橋）・木下 茂（京都府医大・感覚器未来医療学）

「強度近視眼に対する屈折矯正手術」神谷和孝（北里大）

「円錐角膜に対する屈折矯正手術」荒井宏幸（みなとみらいアイクリニック）

「眼内レンズ眼に対する屈折矯正手術」根岸一乃（慶應大）

「屈折矯正術後眼に対する屈折矯正手術」中村友昭（名古屋アイクリニック）

「角膜移植眼に対する屈折矯正手術」稗田 牧（京都府医大）

シンポジウム 16 「医療安全—医事紛争に発展しないために—」

オーガナイザー：白井正一郎（豊橋市民病院）・松下卓郎（大塚眼科病院）

「医療安全の基本的な考え方」白井正一郎（豊橋市民病院）

「最近の眼科医事紛争事例から学ぶ」野中隆久（あかしな野中眼科）

「医療事故調査制度等」児玉安司（新星総合法律事務所）

シンポジウム 17 「難治性視神経症の診断・治療に対する最近の考え方」

オーガナイザー：奥 英弘（大阪医大）・石川 均（北里大）

「レーベル遺伝性視神経症の新しい基準について」中村 誠（神戸大）

「抗 MOG 抗体陽性視神経炎の診断法とその治療」毛塚剛司（東京医大）

「抗 AQP4 抗体陽性視神経炎の診断法とその治療」植木智志（新潟大）

「虚血性視神経症治療に向けての最近の取り組み」中馬秀樹（宮崎大）

シンポジウム 18 <日本眼科社会保険会議枠>

オーガナイザー：大橋裕一（愛媛大）・山岸直矢（山岸眼科医院）

シンポジウム 19 「最新のぶどう膜炎診断基準と治療指針」

オーガナイザー：蕪城俊克（東京大）・毛塚剛司（東京医大）

「サルコイドーシスの診断基準および治療指針」石原麻美（横浜市大）
「Vogt-小柳-原田病の治療指針」南場研一（北海道大）
「ベーチェット病の診断基準および治療指針」後藤 浩（東京医大）
「急性網膜壊死の診断基準および治療指針」高瀬 博（医科歯科大）
シンポジウム 20 「眼科診療に与える OCT のインパクト」
オーガナイザー：富田剛司（東邦大・大橋）・飯田知弘（女子医大）
「前眼部の OCT」前田直之（大阪大）
「緑内障の OCT」板谷正紀（埼玉医大）
「網膜・硝子体の OCT」丸子一朗（女子医大）
「OCT angiography」石羽澤明弘（旭川医大）
「脈絡膜の OCT」園田祥三（鹿児島大）
視能訓練士プログラム 「こんなときどうする？内斜視の検査と経過観察」
オーガナイザー：牧野伸二（自治医大）・長谷部佳世子（川崎医大・川崎）
「調節性内斜視の経過観察」矢ヶ崎悌司（眼科やがさき医院）
「内斜視における Prism adaptation test の目的、基礎、応用」長谷部佳世子（川崎医大・川崎）
「画像検査から診る後天内斜視 up to date」西田保裕（滋賀医大）
ナーシングプログラム「眼科看護の特性と教育を見直す一歩と心のケアを深めるために」
オーガナイザー：石井 清（さいたま赤十字病院）・大音清香（井上眼科病院）
「眼科医師の立場から眼科看護に期待すること」石井 清（さいたま赤十字病院）
「大学病院での集合教育と眼科看護教育のあり方」阿部由希子（旭川医大）
「眼科単科病院での看護教育と看護連携」上村博子（眼科三宅病院）
「大学病院の看護教育と臨床看護師の育成」小坂絹子〔北里大学病院看護部（7E 病棟）〕
病医院運営プログラム 「医療と消費税」
オーガナイザー：山岸直矢（山岸眼科医院）・杉浦寅男（杉浦眼科）
「医療と消費税」今村 聡（日本医師会）
Special Interest Group Meeting (SIG)
SIG 1 眼科 DNA チップ研究会
SIG 2 眼科再生医療研究会
SIG 3 眼光学アップデート
SIG 4 強度近視眼底研究会
市民公開講座 「いつまでもよく見える喜びのために」
司会：小椋祐一郎（名古屋市大）
座長：湯口幹典（愛知県眼科医会）・千原悦夫（京都府眼科医会）
「緑内障！白内障とは大違い！」相原 一（東京大）
「網膜の再生医療」高橋政代（理化学研究所）
一般演題（講演・学術展示）
インストラクションコース
専門医制度講習会
屈折矯正手術講習会
オルソケラトロジー講習会
各種セミナー（モーニング、ランチョン、イブニング、フェアウェル）
日本眼科医療機器協会併設器械展示会
2016年3月15日（火）13：00～9月9日（金）13：00
（郵便振替は8月1日当日払込分まで有効）

事前参加
登録期間

会費

区分	事前登録	当日登録
医 師	¥18,000	¥25,000
研修医	¥5,000	¥5,000
大学院生・留学生・コ・メディカル	¥5,000	¥5,000
コ・メディカルサンデーパス（11/6のみ参加）	—	¥3,000
非医師・民間研究員	¥18,000	¥25,000
学生（医療系）・初期研修医	無料	無料

事前参加
登録方法

本会ではオンライン登録または郵便振替にて受付。

郵便払込取扱票は、「日本の眼科」4号に綴込みの払込取扱票を利用すること。

※詳細は、学会ホームページ（<http://convention.jtbcom.co.jp/70ringan/>）の「参加登録」を参照。

事務局

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション 2 局内

（旧社名 株式会社 JTB コミュニケーションズ）

〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-10 梅田ダイビル 4F

Tel. 06-6348-1391 Fax. 06-6456-4105 E-mail: 70ringan@jtbcom.co.jp

営業時間：9：30～17：30（土・日・祝祭日休み）

第 20 回眼創傷治癒研究会

日時

2016 年 8 月 20 日（土）13 時頃～18 時（懇親会 19 時～）

2016 年 8 月 21 日（日）9 時頃～12 時

会場

九州大学コラボ・ステーション I 視聴覚ホール（〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1 Tel. 092-642-6927）

会費

5,000 円（懇親会参加費含む・宿泊費別）。当日の支払。

プログラム

特別講演

1. 「Neovascular unit からみた脳血管障害」 吾郷哲朗（九州大・病態機能内科）
2. 「網膜線維性増殖組織形成に関する分子薬理学研究（仮）」 木村和博（山口大・眼科）

基調講演

「眼内線維性増殖の病態解明と治療法開発」 石川桂二郎（九州大・眼科）

問合先

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1 九州大学眼科学教室

〔准教授：吉田茂生（代・秘書：水江由利子）〕

Tel. 092-642-5648 Fax. 092-642-5663 E-mail: y-mizue@eye.med.kyushu-u.ac.jp

第 17 回日本ロービジョン学会学術総会

日時

2016 年 8 月 26 日（金）～28 日（日）

会場

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター（〒950-0078 新潟市中央区万代島 6-1 Tel. 025-246-8400）

テーマ

「目指せ！ QOVL サポーター～Best Quality of Visual Life～」

名誉会長

福地健郎（新潟大学眼科）

会長

石井雅子（新潟医療福祉大学視機能科学科）

事務局長

阿部春樹（新潟医療福祉大学視機能科学科）

プログラム

○特別講演 「視覚障害とロービジョンケアの近未来」 高野 繁（日本眼科医会会長）

座長：加藤 聡（日本ロービジョン学会理事長）

○教育講演 I 「ロービジョン関係者が学ぶべき障害者差別解消法の意義」 竹下義樹（日本盲人会連合会長）

座長：仲泊 聡（理化学研究所研究員）

- 教育講演Ⅱ「見えないものが見えるーシャルル・ボネ症候群を含めてー」若倉雅登（井上眼科医
院名誉院長）
座長：山縣祥隆（山縣眼科医医院院長）
- シンポジウム「発達障害の子供の見え方を理解する」
オーガナイザー：松久充子（さくら眼科）・田淵昭雄（川崎医療福祉大）
シンポジスト：
「発達障害の子どもにみられる視機能異常と鑑別するべき疾患」川端秀仁（かわばた眼科）
「眼科を受診する発達障害の子どもの主訴と検査と診断」松久充子（さくら眼科）
「発達障害の子どもの眼科検査の実際（発達を含む）」岩崎佳奈枝（さくら眼科）
「発達障害児の合理的配慮と受験・進学・就労」中野泰志（慶應大）
「発達障害の子どもの教育等支援の実際」氏間和仁（広島大）
- ワークショップ1「必見！視覚補助具の使い方」
オーガナイザー：山田敏夫（大島眼科病院視能訓練士）・永井春彦（勤医協札幌病院）
演者1：山口俊光（新潟市障がい者ITサポートセンター/新潟大）
演者2：阿曾沼早苗（大阪大眼科視能訓練士）
- ワークショップ2「ロービジョン外来を作ろう！」
オーガナイザー：清水朋美（国立障害者リハビリテーションセンター病院）・張替涼子（新潟医療
福祉大）
演者1：清水朋美（国立障害者リハビリテーションセンター病院）
演者2：澤崎浩美（いけがみ眼科整形外科）
演者3：吉田宗徳（名古屋市立大）
- 視能訓練士・看護師を目指す学生向けロービジョンケアセミナー
座長：石井雅子（新潟医療福祉大）・高橋 広（北九州市立総合療育センター）
演者1：林 京子（かがわ総合リハビリテーションセンター）
演者2：大音清香（井上眼科病院）
- ランチョンセミナー（日本アルコン株式会社）
演者1：根岸貴志（順大）
演者2：池田史子（日高病院）
座長：福地健郎（新潟大）
- モーニングセミナー（ノバルティスファーマ株式会社）
演者1：岡本史樹（筑波大）
演者2：平形明人（杏林大）
座長：井上賢治（井上眼科病院）
- 市民公開講座「守る！あなたの眼」
講演1「緑内障から生涯のQOLを守る」福地健郎（新潟大）
座長：中山 徹（新潟県眼科医会）
講演2「網膜を守る，見えるを守る～神経保護から再生医療，その先へ～」山本修一（千葉大）
座長：安藤伸朗（済生会新潟第二病院）
- 学術総会関連企画
ロービジョン研修会，就労支援セミナー
その他：一般演題発表（口演・ポスター）・「触れて楽しむ美術展」・機器展示・書籍展示など

会費

区分	当日登録
会 員	¥8,000
非会員	¥10,000
学 生	¥2,000

運営事務局 (株)アド・メディック

〒 950-0078 新潟市中央区万代島 5-1 万代島ビル 13F

Tel. 025-245-4087 Fax.025-247-8101 E-mail : jsrr17@admedic.jp

第 54 回六大学合同眼科研究会

日時 2016 年 9 月 3 日 (土) 13 時開会予定

会場 九州大学医学部百年講堂大ホール

プログラム 教育講演「糖尿病網膜症の治療」吉田茂生 (九州大学眼科准教授)
特別講演「未定」鈴木茂伸 (国立がん研究センター中央病院 眼腫瘍科長)

演題募集 演題締切は 2016 年 8 月 5 日 (金) 必着

演題名・氏名 (連名の場合は演者に○)・所属・所在地を記入

コンピュータ出力によるデジタルプレゼンテーションのみ

プロジェクターは 1 面で、出力は XGA (1024×768)

講演者は講演 30 分前までに PC 受付にデータまたはコンピュータを持参

Microsoft Power Point または Apple Keynote を使用すること

データは CD-R または USB フラッシュメモリーで受け付け

ムービー使用の際は自身のパソコンを持参

講演時間は 7 分

申込先 〒 812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1 九州大学眼科学教室 (医局長: 池田康博)

Tel. 092-642-5648 Fax. 092-642-5663 E-mail : oculus@med.kyushu-u.ac.jp

研究会は日眼生涯教育事業 (1 日 3 単位) に認定されている。

第 52 回日本眼光学学会総会

会期 2016 年 9 月 3 日 (土) ~ 4 日 (日)

会場 ソラシティカンファランスセンター (〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6)

会長 小林克彦 (帝京大)

プログラム (予定)

○特別講演「眼光学系評価の現状と将来 (散乱計測等) (仮)」

座長: 小林克彦 (帝京大)

演者: 大沼一彦 (千葉大)

○教育講演「眼光学チュートリアルセミナーより」

座長: 小林 克彦 (帝京大)

「視力, コントラスト感度をよりよく理解するために (仮)」不二門尚 (大阪大)

「加齢水晶体眼の視機能 (仮)」佐々木洋 (金沢医大)

○シンポジウム 1 「波面センサーの最新情報と今後の展開」

オーガナイザー: 三橋俊文 (東工大), 大鹿 哲郎 (筑波大)

「波面センシングテクノロジーの昨今の動向 (仮)」三橋俊文 (東工大)

「波面センサーと眼の色収差: 正常眼と眼内レンズ眼の光学的構造 (仮)」中島 将 (株式会社トプコン)

「波面収差と読書視力: 実生活における視機能と波面収差の関連 (仮)」塩入 論 (東北大)

○シンポジウム 2 「OCT 旬な話題」

オーガナイザー: 三浦雅博 (東京医大・茨城)

「前眼部偏光感受型 OCT」山成正宏 (株式会社トーマコーポレーション)

「偏光感受型 OCT による黄斑疾患の観察」三浦雅博 (東京医大・茨城)

「OCT による眼底血管 3 次元画像」巻田修一 (筑波大)

- 「Doppler OCT による網膜血流計測」長岡泰司（旭川医大）
 ○シンポジウム 3「屈折矯正最前線」
 オーガナイザー：魚里 博（大阪人間科学大）
 「イントロダクション」魚里 博（大阪人間科学大）
 「屈折検査の最新動向」川守田拓志（北里大）
 「眼鏡レンズ矯正の最新動向（仮）」祁 華（HOYA ビジョンケアカンパニー）
 「コンタクトレンズ矯正の最新動向」梶田雅義（梶田眼科）
 「屈折矯正手術の最新動向（角膜，IOL，ICL，老視矯正を含む）」根岸一乃（慶應大）

一般講演

学術奨励賞・論文賞受賞講演，

各種共催セミナー（モーニング，ランチョン，イブニング）

器械展示，書籍展示

会費

区分	当日登録
会 員	¥15,000
非会員・企業	¥18,000
研修医 ^{*1,2} /大学院生 ^{*2} /コ・メディカルスタッフ ^{*2}	¥8,000
学生（視能訓練学校生、医学生、留学生） ^{*3} ※共催セミナーへの参加を除く	¥3,000

※1：研修医は，新臨床研修制度4年目（後期研修2年目）までとする。

※2：研修医，大学院生，コ・メディカルスタッフの方は，主任教授もしくは所属長の証明が必要。

※3：学生（大学院生は除く）の方は，当日登録のみでの登録（共催セミナーを除く）が可能。

学生証コピーまたは指導者（もしくは所属長）の証明が必要。

学生証および登録区分証明書を必ず参加登録受付に持参のこと。

運営事務局

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション 2 局

（旧社名：株式会社 JTB コミュニケーションズ）

〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング 13 階

TEL. 03-5657-0610 FAX. 050-3730-3977（グリーン FAX）E-mail：52jsou@jtbcom.co.jp

学会 HP：http://convention.jtbcom.co.jp/52jsou/index.html

第 17 回国際ベーチェット病会議（17th International Conference on Behçet's Disease）

会期 2016 年 9 月 15 日（木）～17 日（土）

開催地 イタリア・マテラ

会場 Casa di Spiritualità Sant'Anna 詳細は学会ホームページ「General information」を参照。

登録・会費 詳細は学会ホームページ「Registration」を参照。

学会ホームページ http://www.allmeetingsmaterait/behçets/

理事長 北海道大学眼科名誉教授 大野重昭

大会長 Professor Ignazio Olivieri

国内連絡先 〒002-8072 札幌市北区あいの里 2 条 5 丁目

北海道医療大学個性差医療科学センター眼科学系教授 北市伸義

Tel. 011-778-7575（代表）Fax. 011-770-5034 E-mail：nobukita@hoku-iryo-u.ac.jp

大会本部 Organization's secretariat：via Passarelli 137/bis- 75100 Matera

E-mail：segreteria@allmeetingsmaterait

第9回国際ベーチェット病患者会議 (9th International Conference of Behçet's Disease Patients)

日時 2016年9月17日(土)
開催地 イタリア・マテラ
会場 Hotel Palace of Matera
 その他詳細は決まり次第ホームページで公開予定。
ホームページ <http://www.allmeetingsmaterait/behçets/patients-conference/>

第27回日本緑内障学会

日時 2016年9月17日(土)～19日(月・祝)
会場 パシフィコ横浜 (〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 Tel. 045-221-2155)
会長 庄司信行 (北里大学医療衛生学部)
プログラム (予定) 須田記念講演
 山本哲也 (岐阜大学医学部眼科学教室)
 特別講演
 新家 眞 (公立学校共済組合関東中央病院)
 招待講演
 北岡明佳 (立命館大学文学部人文学科心理学専攻)
 Japan-Asia Symposium
 シンポジウム
 「叡智！緑内障基礎研究の最前線」「叡智！眼血流の基礎知識」「叡智！緑内障手術の理論と基礎」
 「叡智！軸索障害の機序と病理」「叡智！視野の深層を探索する」「実践！緑内障基礎研究のノウハウ」
 「実践！眼血流研究の臨床応用」「実践！緑内障の手術戦略」「実践！手術のタイミングと目標眼圧」
 「実践！視野を見極める」「実践！視神経乳頭診断のすべて」「開拓！眼血流研究の未来」「開拓！神経保護・再生の未来」
 「開拓！新しい緑内障手術とその展望」「開拓！眼圧下降薬物療法の将来」「開拓！より明確な視野を追及する」「開拓！緑内障画像診断の未来」
 SSS (Subspeciality & staff) プログラム 「実践！視野異常に対する屈折矯正とロービジョンケア」
 データ解析委員会特別セッション
 市民公開講座

会費

区分	当日登録
医師、教育研究機関研究員(会員)	18,000円
医師、教育研究機関研究員(非会員)	22,000円
企業職員	22,000円
メディカルスタッフ(会員)	8,000円
メディカルスタッフ(非会員)	10,000円
研修医(新臨床研修医制度3年目〔後期研修1年目〕まで)	10,000円

事務局 株式会社コングレ内
 Tel. 03-5216-5318, Fax. 03-5216-5552, E-mail: jgs2016@congre.co.jp

学会HP <http://www.congre.co.jp/jgs2016/>

専門医認定の単位数 (予定) 日本眼科学会専門医制度単位
 9月17日(土) 3単位, 9月18日(日) 3単位, 9月19日(月・祝) 2単位

第 64 回日本臨床視覚電気生理解学会・第 11 回 JRPS 網脈絡膜変性フォーラム

- 日時** 第 64 回日本臨床視覚電気生理解学会 2016 年 9 月 30 日 (金)～10 月 1 日 (土)
第 11 回 JRPS 網脈絡膜変性フォーラム 2016 年 10 月 2 日 (日)
- 会場** 第 64 回日本臨床視覚電気生理解学会
伊勢志摩ロイヤルホテル (〒 517-0295 志摩市磯部町の矢笠取 939-6 Tel. 0599-55-2111)
第 12 回 JRPS 網脈絡膜変性フォーラム
伊勢市観光文化会館 (〒 516-0037 伊勢市岩渕 1-13-15 Tel. 0596-28-5105)
- 会長** 近藤峰生 (三重大)
- プログラム (予定)** ○特別講演「時限走査記録法による ERG スペクトル反応研究の軌跡」
座長：近藤峰生 (三重大)
演者：宇治幸隆 (三重大名誉教授, 小山田記念温泉病院)
○シンポジウム 1「診断に苦慮した症例・珍しい症例」
オーガナイザー：林 孝彰 (慈恵医大), 町田繁樹 (獨協医大・越谷)
○シンポジウム 2「視覚電気生理の最先端と眼科診療の展望」
オーガナイザー：直井信久 (宮崎大), 中村 誠 (神戸大)
「再生治療の実験に用いる Micro ERG」万代道子 (理化学研究所)
「JAPAN 遺伝子解明プロジェクト (仮)」角田和繁 (東京医療センター)
「日本発人工視覚の現状」不二門尚 (大阪大)
「全身麻酔下の小児から精密 ERG 解析で得られた所見 (仮)」片桐 聡 (慈恵医大)
モーニングクルーズ, ランチクルーズ, アフタヌーンクルーズ, フェアウェルクルーズ
一般講演 (口演), 学術展示, 器械展示, 書籍展示

会費

参加区分	当日登録
会 員	12,000 円
非会員	15,000 円
コ・メディカル, 大学院生, 研修医, 留学生	4,000 円
懇親会	3,000 円

懇親会

日時：9 月 30 日 (金) 18:00～
会場：伊勢志摩ロイヤルホテル 2 階 グランドホール
懇親会参加費：3,000 円
申込方法：郵便振替票にて参加登録とともに申込。
※定員に達し次第締切。
※詳細は、学会ホームページ (<http://convention.jtbcom.co.jp/64jscev/>) の「参加登録ページ」にて。

運営事務局

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション 2 局内
(旧社名：株式会社 JTB コミュニケーションズ)
〒 530-0001 大阪市北区梅田 3-3-10 梅田ダイビル 4F
Tel. 06-6348-1391 Fax. 06-6456-4105 E-mail: 64jscev@jtbcom.co.jp
営業時間：9:30～17:30 (土・日・祝祭日休み)

The 20th IRSJ (2016)・第 16 回眼科臨床機器研究会ジョイントセミナー

- 日時** 2016 年 10 月 22 日 (土) 13:00～18:30
- 会場** 横浜シンポジア (〒 231-0023 横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル 9F Tel. 045-671-7151)
- プログラム** The 20th IRSJ (2016) 13:00～15:00
主催：The IRSJ 会長 神谷和孝

オーガナイザー：川守田拓志

メインテーマ：「Best Refractive Correction～あなたはどの屈折矯正法を選びますか？～」

モデレーター：神谷和孝，川守田拓志（北里大）

第16回眼科臨床機器研究会（日本眼科学会専門医認定事業申請中） 15：30～18：30

主催：眼科臨床機器研究会会長 庄司信行（北里大）

講演Ⅰ．「新しい手術用糸」モデレーター：後関利明（北里大）

講演Ⅱ．「前眼部OCT」モデレーター：飯田嘉彦（北里大）

講演Ⅲ．「OCT angiography」モデレーター：柳田智彦（北里大）

本会では、(株)ゆうちょ銀行の振替口座にて、事前登録受け付け。

参加登録 会費

参 加 費	医師・企業研究員		コメディカル	
	事前	当日	事前	当日
The 20th IRSJ（2016）	4,000 円	5,000 円	3,000 円	4,000 円
第16回眼科臨床機器研究会	4,000 円	5,000 円	3,000 円	4,000 円
2学会共通	7,000 円	9,000 円	5,000 円	7,000 円

主催

北里大学眼科

〒252-0374 相模原市南区北里1-15-1

Tel. 042-778-8464 Fax. 042-778-2357

The IRSJ 会長：神谷和孝

眼科臨床機器研究会会長：庄司信行

事務局

The 20th IRSJ（2016）・第16回眼科臨床機器研究会ジョイントセミナー事務局

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-4-7

スタッフルームタケムラ有限公司社内

Tel. 03-5287-3801 Fax. 03-5287-3802

第131回青森眼科集談会（専門医認定番号 No.59060）

日時 2016年10月30日（日）9：30～15：00

会場 弘前大学医学部コミュニケーションセンター（〒036-8203 弘前市本町40番地1）

特別講演 石龍鉄樹（福島県立医科大学眼科学講座 教授）

演題募集締切 2016年9月20日（火）

事務局 〒036-8562 弘前市在府町5

弘前大学大学院医学研究科眼科学講座

責任者：中澤 満

mitsuru@hirosaki-u.ac.jp

Tel. 0172-39-5095 Fax. 0172-37-5735

児童受入あり 申込締切：9月20日

申込先 講座事務局 田澤美賀子

mikako@hirosaki-u.ac.jp

Tel. 0172-39-5095 Fax. 0172-37-5735

第55回日本網膜硝子体学会総会

日時 2016年12月2日（金）～4日（日）

会場 ベルサール渋谷ガーデン（〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16-17 住友不動産渋谷ガーデンタワー
Tel. 03-5428-5581）

学会・研究会 ご案内

会長 平形明人（杏林大）

プログラム ○招待講演「Complications of Vitrectomy for Retinal Detachment」

（予定） 演者：Stanley Chang（Columbia Univ.）

○シンポジウム 1「疾患登録事業の夜明け」

オーガナイザー：坂本泰二（鹿児島大）、山下英俊（山形大）、山本修一（千葉大）

「疾患登録事業とは」坂本泰二（鹿児島大）

「網膜剥離が選ばれた理由および諸外国の状況」山切啓太（鹿児島大）

「登録項目選定の理由」西塚弘一（山形大）

「現在までの進行状況、中間解析など」馬場隆之（千葉大）

「疾患登録事業が今後目指す方向」厚東隆志（杏林大）

○シンポジウム 2「Surgical Treatment for Severe Vitreoretinal Diseases」

オーガナイザー：Stanley Chang（Columbia Univ.）、井上 真（杏林大）

「Advances in Vitreoretinal Surgery for Wnt-Associated Vitreoretinopathies」Yoshihiro Yonekawa
（Massachusetts Eye and Ear Infirmary/Boston Children's Hospital）

「Retinopathy of prematurity：ROP」寺崎浩子（名大）

「High myopia（仮）」生野恭司（いくの眼科）

「Central retinal artery occlusion：CRAO」門之園一明（横浜市大）

○シンポジウム 3「Fundus Imaging in Diagnosis and Treatment」

オーガナイザー：Glenn J. Jaffe（Duke Univ.）、岡田アナベルあやめ（杏林大）

「Diabetic retinal diseases and OCT angiography」村田敏規（信州大）

「AMD（仮）」飯田知弘（女子医大）

「Pathologic Myopia（仮）」大野京子（東医歯大）

「Uveitis and other inflammatory disorder」Glenn J. Jaffe（Duke Univ.）

○教育セミナー 1「裂孔原性網膜剥離手術の基本」

オーガナイザー：池田恒彦（大阪医大）、日下俊次（近畿大・堺）

「術前検査の基本」廣田和成（杏林大）

「若年者の強膜バックリング手術」池田恒彦（大阪医大）

「Primary vitrectomy」厚東隆志（杏林大）

「内視鏡手術」喜多美穂里（京都医療センター）

「難治性網膜剥離に対する強膜バックリング手術」田中住美（竹内眼科クリニック）

「再手術戦略」石田政弘（帝京大・溝口）

○教育セミナー 2「網膜硝子体疾患の検査法」

オーガナイザー：石田 晋（北海道大）、近藤峰生（三重大）

「眼底写真・眼底自発蛍光」古泉英貴（女子医大）

「FA・IA（仮）」森隆三郎（日本大）

「ERG」町田繁樹（獨協医大・越谷）

「OCT（仮）」伊東裕二（杏林大）

「OCTA（OCT アンジオグラフィー）（仮）」吉田宗徳（名市大）

事前参加登録 2016 年 6 月 9 日（木）～10 月 7 日（金）消印有効

（予定）

払込取扱票は、「日本の眼科」6 号に綴じ込みのものをご利用のこと。

日本網膜硝子体学会会員の方には、9 月に総会ニュースレターとともに送付予定。

申込み時には原則として 1 人 1 枚の払込取扱票をご利用のこと。

会費

区分	事前登録	当日登録
会員医師	15,000 円	18,000 円
会員医師以外 (コ・メディカル/その他)	7,000 円	9,000 円
非会員医師・企業	20,000 円	22,000 円
非会員医師以外 (コ・メディカル/その他)	9,000 円	11,000 円
コ・メディカルサンデーパス*	なし	2,000 円

*12月4日(日)のみ参加可能。

詳細は本学会ホームページ (<http://convention.jtbcom.co.jp/55moumaku/>) の「参加登録ページ」を参照。

問合先

第55回日本網膜硝子体学会総会 事務局
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション 2 局内
(旧社名 株式会社 JTB コミュニケーションズ)
Tel. 06-6348-1391 Fax. 06-6456-4105 E-mail: 55moumaku@jtbcom.co.jp
HP: <http://convention.jtbcom.co.jp/55moumaku/>

第16回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー

テーマ

弱視・斜視の基礎と最新情報シリーズ
その1:「斜視の臨床と最新情報」(日眼生涯教育事業 13772)

日時

2017年2月25日(土) 14:45~18:15

会場

大阪リバーサイドホテル (JR 大阪環状線 桜ノ宮駅 西出口 徒歩2分)

プログラム

「上下斜視の臨床と最新情報」木村亜紀子(兵庫医大)
「外斜視の臨床と最新情報」菅澤 淳(大阪医大)
「DVDの臨床と最新情報」野村耕治(兵庫県立こども病院)
「内斜視の臨床と最新情報」不二門尚(大阪大)
ワークショップ「レチノスコピー」指導: 湖崎 克, 名誉会員+全メンバー

会費

医師: 3,000 円 非医師: 1,000 円 (いずれも当日登録)

主催

近畿弱視斜視研究会(不二門尚, 初川嘉一, 木村亜紀子, 三村 治, 三宅三平, 森本 壮, 村木早苗, 西田保裕, 野村耕治, 近江源次郎, 佐々本研二, 白井久美, 菅澤 淳, 杉山能子, 山縣祥隆, 横山 連, 内海 隆)(以上17名・ABC順), 参天製薬株式会社

事務局

内海 隆(医療法人 内海眼科医院 Tel. 072-626-1223)